

いしかわシティカレッジに関する包括協定に基づく他大学等における履修等に関する
規程

平成 22 年 4 月 1 日

規程第 46 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、金沢美術工芸大学学則（平成 22 年規程第 1 号。以下「学則」という。）
第 38 条に定める単位互換制度のうち、いしかわシティカレッジに関する包括協定に基づく
他大学等における履修等（以下「シティカレッジ単位互換履修」という。）について必要な
事項を定める。

(利用できる者)

第 2 条 シティカレッジ単位互換履修を利用できる者は、美術工芸学部本科生とする。

(修得単位数)

第 3 条 シティカレッジ単位互換履修により修得できる単位数は、在学中に 4 単位までとす
る。

(関連規程の適用)

第 4 条 シティカレッジ単位互換履修にあたっては、他大学等の学則、履修に関する規則、
その他関連諸規程の定めに従わなければならない。

(成績評価)

第 5 条 シティカレッジ単位互換履修により他大学等において履修した科目は、他大学等か
ら通知された素点のみにより評価し、他大学等における科目名、単位数のまま本学におい
て認定する。この場合、本学における評価は学則第 39 条の定める評語により行う。

(単位互換科目の取扱い)

第 6 条 本学学生がシティカレッジ単位互換履修により履修、修得した科目はすべて自由科
目として扱う。

2 シティカレッジ単位互換履修により修得した単位は、本学における教員免許、学芸員資
格、建築士受験資格等の取得のための科目としては認められない。

3 シティカレッジ単位互換履修は、本学における特殊欠席の理由とはならない。

(履修における学生の懲戒処分)

第 7 条 シティカレッジ単位互換履修に関し、他大学等の規則に違反し、又は学生としての
本分に反する行為のあった学生に対しては、本学における履修等に関し同様の行為があっ
たものとして、学則第 47 条に基づく懲戒を加えることができる。この場合、いしかわシテ
ィカレッジ及び他大学等における懲戒に加え、本学において重ねて懲戒を加えることを妨
げない。

(雑則)

第 8 条 この規程に定めるもののほか、シティカレッジ単位互換履修につき疑義を生じた場
合は、他大学等及び本学の学則及び履修に関する規定を準用するほか、シティカレッジ事
務局、他大学等、その他関係者と協議のうえ決定する。

附 則

この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。